

愛称：ユニオンジャック

アムンディ・英国債ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）

追加型投信／海外／債券

毎月決算型

第14作成期

第76期（決算日 2020年11月25日） 第79期（決算日 2021年 2月25日）
第77期（決算日 2020年12月25日） 第80期（決算日 2021年 3月25日）
第78期（決算日 2021年 1月25日） 第81期（決算日 2021年 4月26日）

年2回決算型

第14期（決算日 2021年4月26日）

作成対象期間（2020年10月27日～2021年4月26日）

毎月決算型	
第81期末（2021年4月26日）	
基準価額	6,192円
純資産総額	885百万円
第76期～第81期	
騰落率	8.6%
分配金（税込み）合計	60円

年2回決算型	
第14期末（2021年4月26日）	
基準価額	8,483円
純資産総額	110百万円
第14期	
騰落率	8.5%
分配金（税込み）	0円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

●受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。

当ファンドは、アムンディ・英国債マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として英ポンド建の英国国債等（国債、地方債、政府保証債、政府機関債）、英国物価連動国債、国際機関債に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。

【閲覧方法】

右記<お問い合わせ先>に記載されているホームページアドレスにアクセス⇒「ファンド情報」メニューから「ファンド・基準価額一覧」（当ファンドが償還した場合は「償還ファンド一覧」）をクリック⇒当該一覧から当ファンドのファンド名称をクリック⇒運用報告書（全体版）をクリック
※ホームページ掲載日より5年間は閲覧いただけます。

- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1丁目2番2号

<お問い合わせ先>

お客様サポートライン：0120-202-900（2021年6月30日まで）
03-3593-5911※（2021年7月1日から）
※通話料は有料です

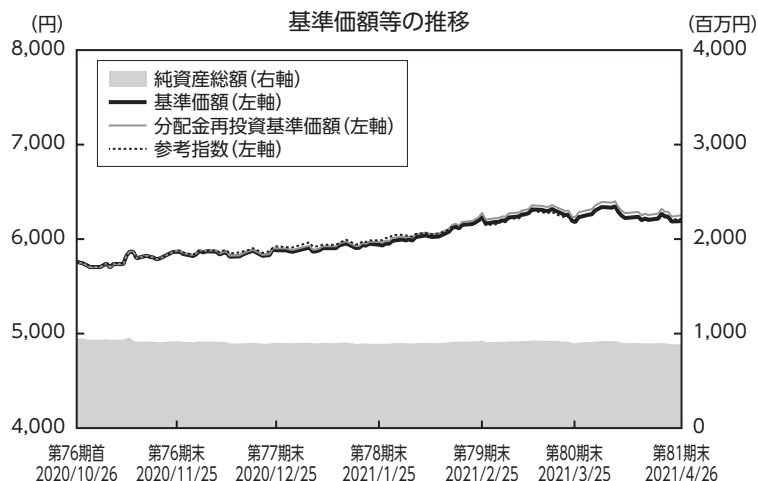
受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで
ホームページアドレス：<https://www.amundi.co.jp/>

運用経過

■ 毎月決算型

基準価額等の推移

第76期首	5,761円
第81期末	6,192円
既払分配金 (税込み)	60円
騰落率	8.6% (分配金再投資ベース)



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 参考指数は、ICE BofA 1-10 Year UK Gilt Index (円換算ベース) です。

(注4) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2020年10月26日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ① 2021年1月、米国で大規模な財政出動への期待が高まり世界のリスクセンチメントが回復したことで、対円で英ポンドが上昇したこと
- ② 2021年2月、英国で新型コロナウイルスのワクチンの接種ペースが加速するとの見方が広がったことやインフレ期待の高まりを受けて、対円で英ポンドが上昇したこと

下落要因

- ① 2021年4月前半、英アストラゼネカ製ワクチンによる血栓症に対する懸念が高まり、対円で英ポンドが下落したこと

■ 毎月決算型

1 万口当たりの費用明細

項 目	第76期～第81期 (2020年10月27日 ～2021年4月26日)		項 目 の 概 要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	41円 (20) (20) (2)	0.686% (0.329) (0.329) (0.027)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷費用)	3 (0) (0) (2)	0.052 (0.007) (0.005) (0.040)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ファンドの法定開示資料の印刷に係る費用
合 計	44	0.738	
期中の平均基準価額は5,973円です。			

(注1) 費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

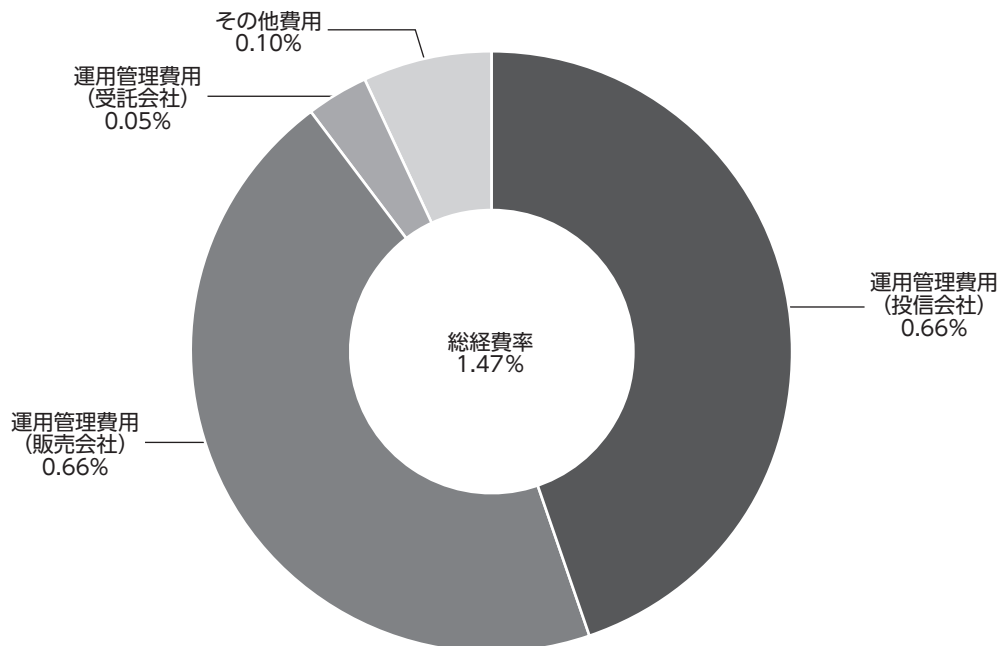
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■ 毎月決算型

(参考情報)

● 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.47%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

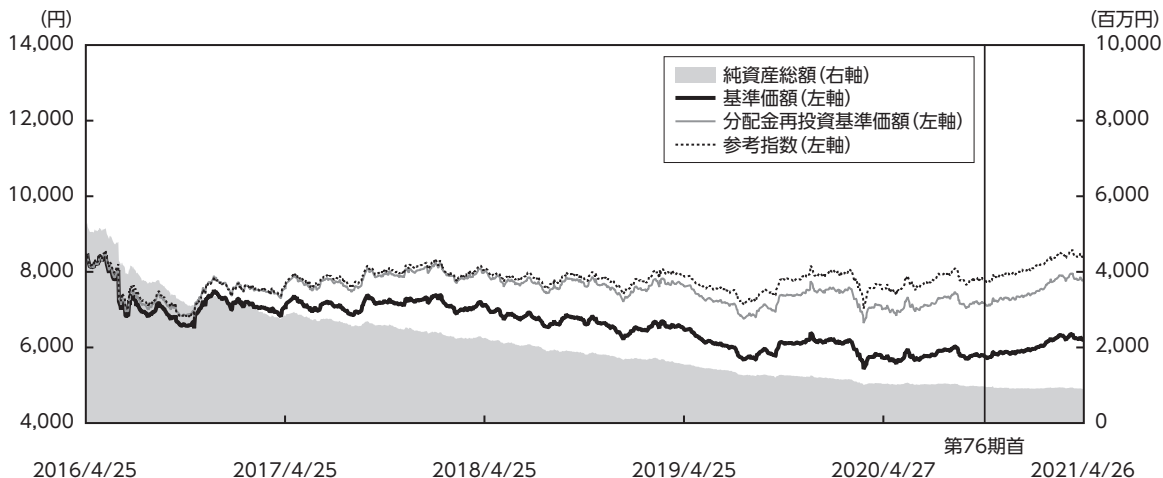
(注4) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応する費用を含みます。

(注5) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■ 毎月決算型

最近5年間の基準価額等の推移

(2016年4月25日～2021年4月26日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 参考指数は、ICE BofA 1-10 Year UK Gilt Index (円換算ベース) です。
- (注4) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2016年4月25日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2016/4/25 期首	2017/4/25 決算日	2018/4/25 決算日	2019/4/25 決算日	2020/4/27 決算日	2021/4/26 決算日
基準価額 (円)	8,421	7,007	7,118	6,477	5,704	6,192
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	525	330	300	255	120
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	-10.5	6.4	-4.8	-8.1	10.8
参考指数騰落率 (%)	—	-9.8	6.5	-2.4	-4.4	11.3
純資産総額 (百万円)	5,252	2,809	2,237	1,533	1,018	885

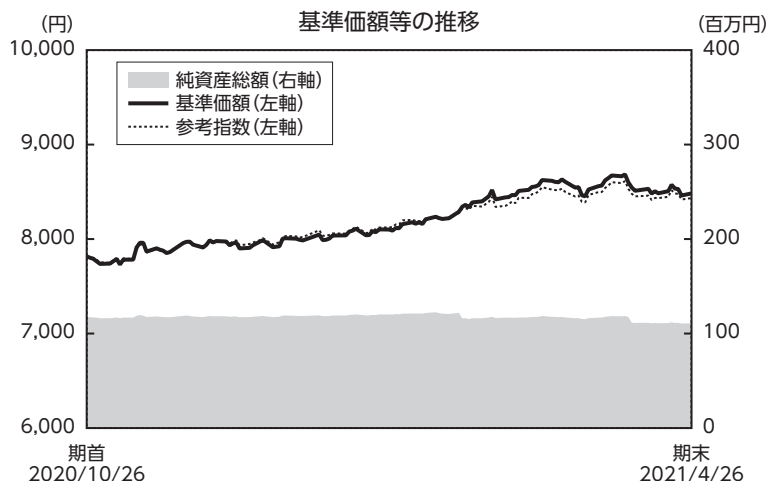
- (注1) 参考指数は、ICE BofA 1-10 Year UK Gilt Index (円換算ベース) です。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しております。ここで述べられているインデックス・データは、ICE Data Indices, LLC、その関係会社 (ICE Data) 及び/又はその第三者サプライヤーの財産であり、アムンディ・ジャパン株式会社による使用のためにライセンスされています。ICE Data及びその第三者サプライヤーは、その使用に関して一切の責任を負いません。免責条項の全文については、<https://www.amundi.co.jp/fund/280074.html>をご参照ください。
- (注2) 海外の指数の場合は、基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

運用経過

■ 年2回決算型

基準価額等の推移

第14期首	7,815円
第14期末	8,483円
既払分配金 (税込み)	0円
騰落率	8.5%



(注1) 参考指数は、ICE BofA 1-10 Year UK Gilt Index (円換算ベース) です。

(注2) 参考指数は、2020年10月26日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ① 2021年1月、米国で大規模な財政出動への期待が高まり世界のリスクセンチメントが回復したことで、対円で英ポンドが上昇したこと
- ② 2021年2月、英国で新型コロナウイルスのワクチンの接種ペースが加速するとの見方が広がったことやインフレ期待の高まりを受けて、対円で英ポンドが上昇したこと

下落要因

- ① 2021年4月前半、英アストラゼネカ製ワクチンによる血栓症に対する懸念が高まり、対円で英ポンドが下落したこと

■ 年2回決算型

1万口当たりの費用明細

項 目	第14期 (2020年10月27日 ～2021年4月26日)		項 目 の 概 要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	56円 (27) (27) (2)	0.686% (0.329) (0.329) (0.027)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷費用)	5 (1) (0) (4)	0.065 (0.007) (0.005) (0.052)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ファンドの法定開示資料の印刷に係る費用
合 計	61	0.751	
期中の平均基準価額は8,139円です。			

(注1) 費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

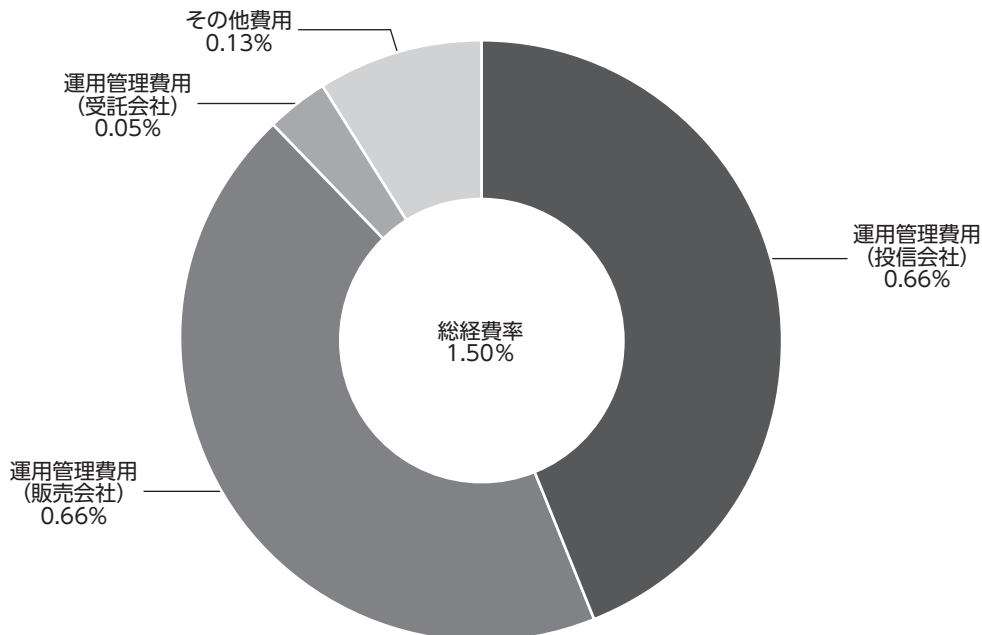
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■ 年2回決算型

(参考情報)

● 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.50%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

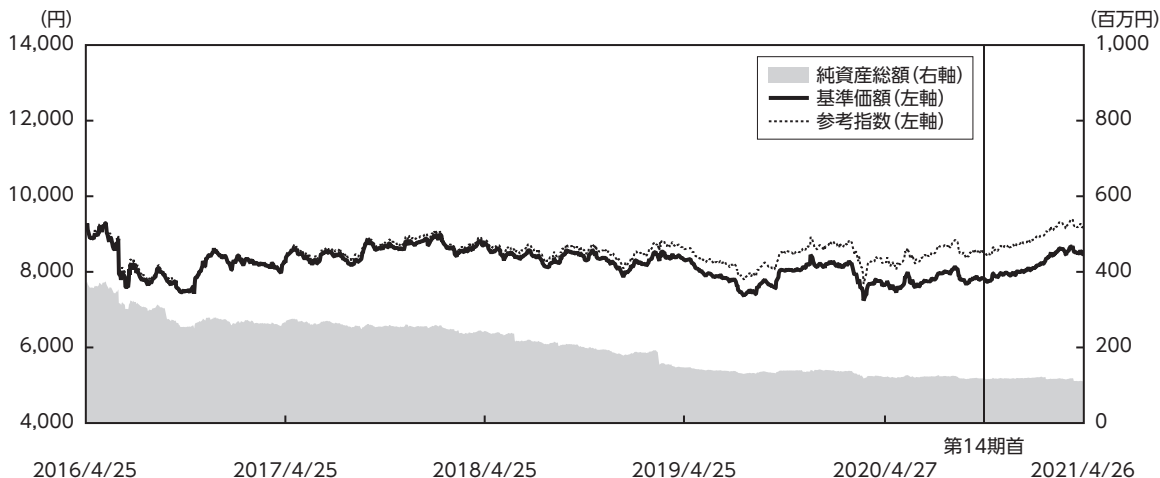
(注4) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応する費用を含みます。

(注5) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■ 年 2 回決算型

最近 5 年間の基準価額等の推移

(2016年4月25日～2021年4月26日)



(注1) 参考指数は、ICE BofA 1-10 Year UK Gilt Index (円換算ベース) です。

(注2) 参考指数は、2016年4月25日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近 5 年間の年間騰落率

	2016/4/25 期首	2017/4/25 決算日	2018/4/25 決算日	2019/4/25 決算日	2020/4/27 決算日	2021/4/26 決算日
基準価額 (円)	9,215	8,244	8,765	8,340	7,659	8,483
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	-10.5	6.3	-4.8	-8.2	10.8
参考指数騰落率 (%)	—	-9.8	6.5	-2.4	-4.4	11.3
純資産総額 (百万円)	370	265	243	147	122	110

(注1) 参考指数は、ICE BofA 1-10 Year UK Gilt Index (円換算ベース) です。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しております。ここで述べられているインデックス・データは、ICE Data Indices, LLC、その関係会社 (ICE Data) 及び/又はその第三者サプライヤーの財産であり、アムンディ・ジャパン株式会社による使用のためにライセンスされています。ICE Data及びその第三者サプライヤーは、その使用に関して一切の責任を負いません。免責条項の全文については、<https://www.amundi.co.jp/fund/280075.html>をご参照ください。

(注2) 海外の指数の場合は、基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

投資環境

<アムンディ・英国債ファンド (毎月決算型) / (年2回決算型)>

<英国債券市場>

当(作成)期の英国10年国債利回りは、大きく上昇(債券価格は下落)しました。2020年11月に、米製薬大手ファイザーが自社開発の新型コロナウイルスのワクチンの有効性が90%以上であると発表したことを受け、世界中の市場でリスク選好の流れが強まり、長期金利は上昇しました。2021年1月に入ると、米国で民主党が上下両院ともに主導権を握ることになったことで大規模な財政出動への期待が高まり、米国金利が上昇した流れを引き継ぎ、英国の長期金利も上昇しました。その後も、英国でワクチンの接種ペースが加速するとの見方が広がったことやインフレ期待の高まりを受け、長期金利は上昇基調となりましたが、4月前半に、英アストラゼネカ製ワクチンによる血栓症に対する懸念が高まり、長期金利は低下(債券価格は上昇)しました。

<為替市場>

当(作成)期初、英ポンド/円相場は137円付近で始まりました。2020年11月、米製薬大手ファイザーが自社開発の新型コロナウイルスのワクチンの有効性が90%以上であると発表したことを受け、世界中の市場でリスク選好の流れが強まり、対円で英ポンドが上昇しました。2021年1月に入ると、米国で民主党が上下両院ともに主導権を握ることになったことで大規模な財政出動への期待が高まり、世界のリスクセンチメントが回復し、英ポンドが上昇しました。その後も、英国でワクチンの接種ペースが加速するとの見方が広がったことやインフレ期待の高まりを受けて、対円で英ポンドの上昇が続きましたが、4月前半に、英アストラゼネカ製ワクチンによる血栓症に対する懸念が高まり、対円で英ポンドは下落に転じました。前(作成)期末対比でみると、英ポンドは対円で上昇して150円付近で当(作成)期末を迎えました。

ポートフォリオ

<アムンディ・英国債ファンド (毎月決算型) / (年2回決算型)>

当ファンドは、英ポンド建の英国国債等(国債、地方債、政府保証債、政府機関債)、英国物価連動国債、国際機関債を主要投資対象とする「アムンディ・英国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行いました。当(作成)期中、マザーファンドの組入比率は高位を維持しました。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

<アムンディ・英国債マザーファンド>

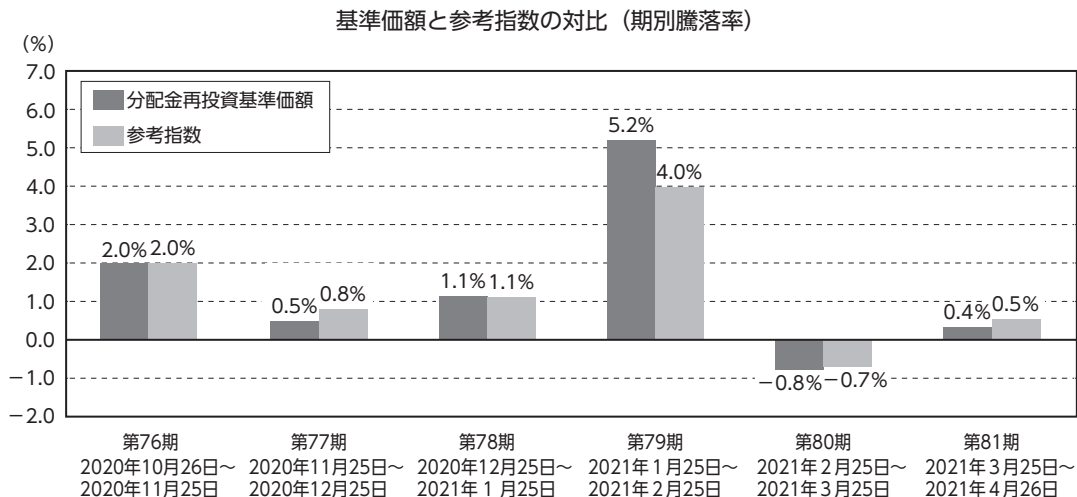
当ファンドは、デュレーションを低水準に抑えたうえで、物価連動国債の非保有を維持しました。リスク選好の姿勢が急激に強まるなか、リスク抑制的なポートフォリオを維持しました。

(アムンディ・アセットマネジメント)

ベンチマークとの差異

■ 毎月決算型 ■

当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



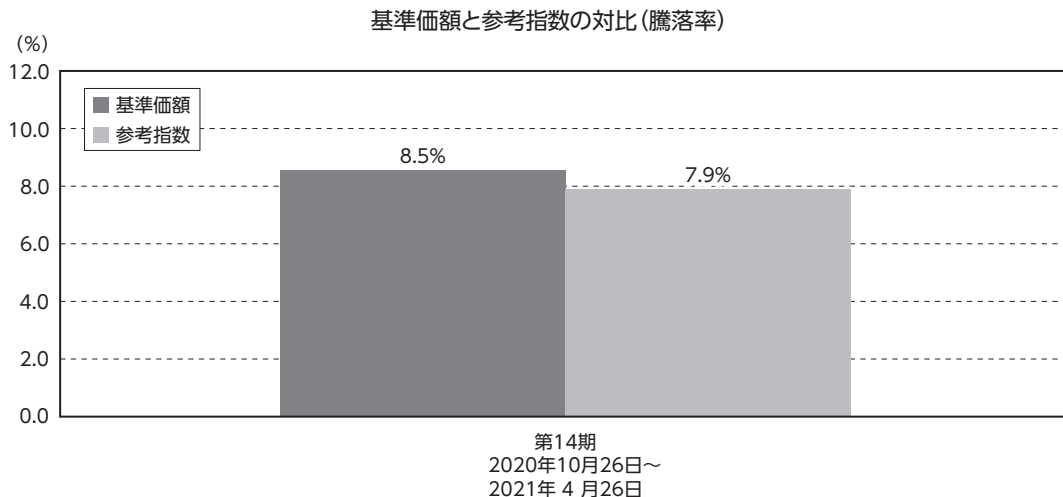
(注1) ファンドの騰落率は、分配金（税込み）が分配時に再投資されたものとみなして計算したものです。

(注2) 参考指数はICE BofA 1-10 Year UK Gilt Index（円換算ベース）です。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しております。

ベンチマークとの差異

■ 年2回決算型 ■

当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 参考指数はICE BofA 1-10 Year UK Gilt Index (円換算ベース) です。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しております。

分配金

■ 毎月決算型 ■

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、以下のとおり分配を行いました。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円・1万口当たり・税込み)

項目	第76期	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期
	(2020年10月27日 ~2020年11月25日)	(2020年11月26日 ~2020年12月25日)	(2020年12月26日 ~2021年1月25日)	(2021年1月26日 ~2021年2月25日)	(2021年2月26日 ~2021年3月25日)	(2021年3月26日 ~2021年4月26日)
当期分配金	10	10	10	10	10	10
(対基準価額比率)	(0.170%)	(0.170%)	(0.168%)	(0.160%)	(0.162%)	(0.161%)
当期の収益	10	9	10	10	3	8
当期の収益以外	—	0	—	—	6	2
翌期繰越分配対象額	102	101	102	103	97	95

・「対基準価額比率」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

・「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■ 年2回決算型 ■

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、見送りとさせていただきます。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円・1万口当たり・税込み)

項目	第14期
	(2020年10月27日~2021年4月26日)
当期分配金	—
(対基準価額比率)	(—%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,225

・「対基準価額比率」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

・「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<アムンディ・英国債ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）>

引き続き、英ポンド建の英国国債等（国債、地方債、政府保証債、政府機関債）、英国物価連動国債、国際機関債を主要投資対象とする「アムンディ・英国債マザーファンド」の受益証券への投資を通じて、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

<アムンディ・英国債マザーファンド>

今後も新型コロナウイルスのワクチン接種の進展にともない、急速に景気回復期待が高まるなか、BOE（イングランド銀行）が予想よりも早く金融緩和を縮小することが想定されることから、現在の短いデュレーションを維持します。景気回復にともない、英国のインフレ率には上昇圧力がかかるものの、大幅なインフレ率の上昇が継続するとは考えにくいことから物価連動国債の非保有を維持します。

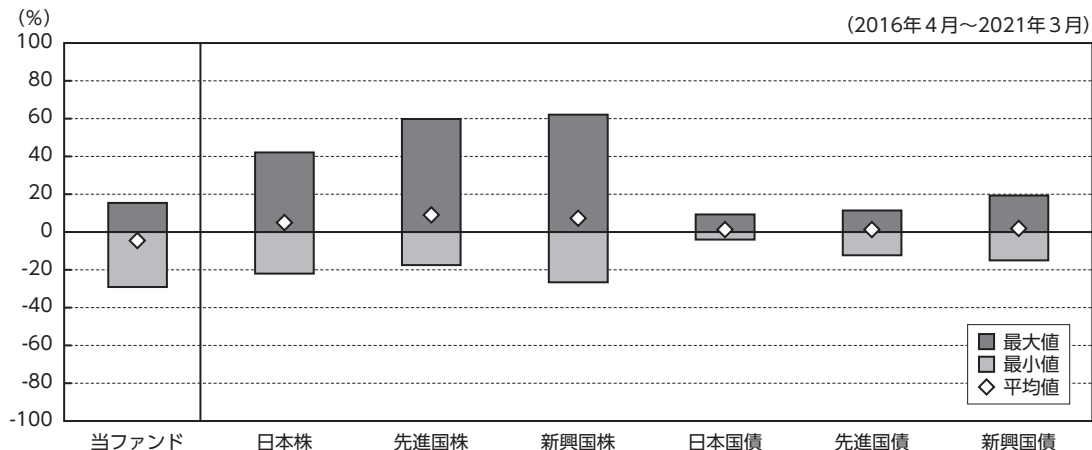
（アムンディ・アセットマネジメント）

ファンドの概要

	毎月決算型	年2回決算型
商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2014年7月31日から2022年10月25日までです。	
運用方針	アムンディ・英国債マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として英ポンド建の英国国債等（国債、地方債、政府保証債、政府機関債）、英国物価連動国債、国際機関債に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	アムンディ・英国債 ファンド（毎月決算型） ／（年2回決算型）	アムンディ・英国債マザーファンド受益証券
	アムンディ・英国債 マザーファンド	英ポンド建の英国国債等（国債、地方債、政府保証債、政府機関債）、英国物価連動国債、国際機関債
運用方法	①マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として英ポンド建の英国国債等（国債、地方債、政府保証債、政府機関債）、英国物価連動国債、国際機関債に投資することにより、安定した収益の確保と投資信託財産の成長をめざします。 ②マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。 ③実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
分配方針	毎決算時（年12回、原則毎月25日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	毎決算時（年2回、原則毎年4月および10月の各25日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

■ 毎月決算型



当ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率

(%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	-4.5	5.2	8.9	7.3	1.1	1.3	1.9
最大値	15.4	42.1	59.8	62.1	9.3	11.4	19.3
最小値	-29.1	-22.0	-17.5	-26.6	-4.0	-12.3	-15.0

(注1) 上記は、当ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 上記は、2016年4月から2021年3月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

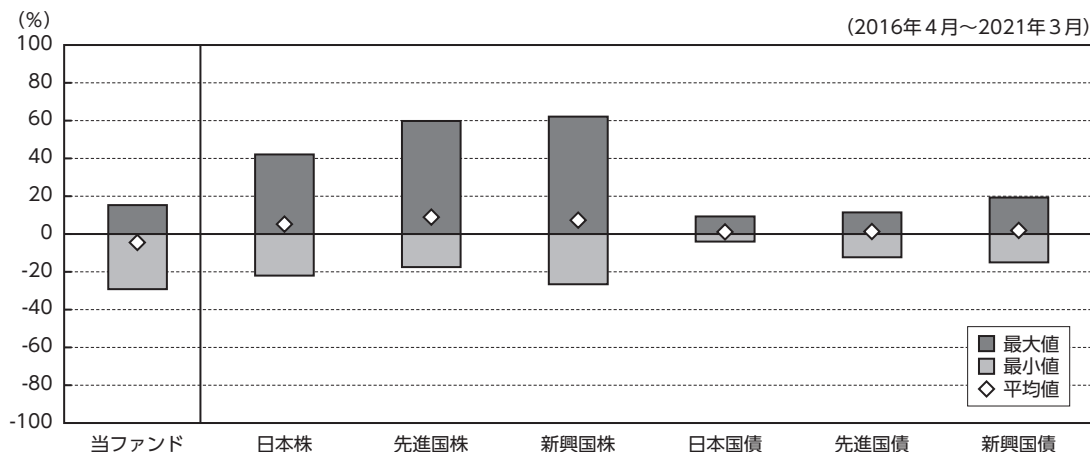
※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・当ファンドは、分配金 (税込み) が分配時に再投資されたものとみなして計算した年間騰落率に基づき計算されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
- ・騰落率は直近月末から遡って算出した結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

■ 年2回決算型



当ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率

(%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	-4.5	5.2	8.9	7.3	1.1	1.3	1.9
最大値	15.3	42.1	59.8	62.1	9.3	11.4	19.3
最小値	-29.2	-22.0	-17.5	-26.6	-4.0	-12.3	-15.0

(注1) 上記は、当ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 上記は、2016年4月から2021年3月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・当ファンドは、分配金 (税込み) が分配時に再投資されたものとみなして計算した年間騰落率に基づき計算されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
- ・騰落率は直近月末から遡って算出した結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容

■ 毎月決算型

組入ファンド

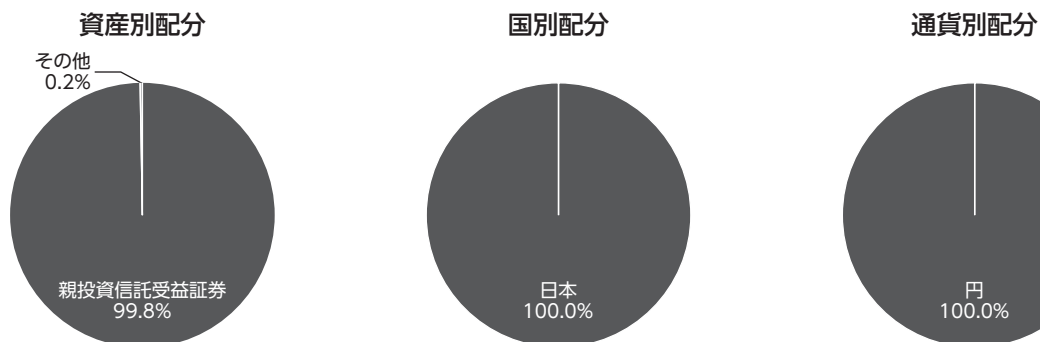
2021年4月26日現在
(組入銘柄数：1銘柄)

銘柄	比率
アムンディ・英国債マザーファンド	99.8%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されております。

種別構成



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

純資産等

項目	第76期末 2020年11月25日	第77期末 2020年12月25日	第78期末 2021年1月25日	第79期末 2021年2月25日	第80期末 2021年3月25日	第81期末 2021年4月26日
純資産総額	919,444,041円	902,647,648円	892,482,997円	927,540,710円	898,298,129円	885,621,586円
受益権総口数	1,567,468,475口	1,533,989,442口	1,502,235,578口	1,486,738,676口	1,453,631,058口	1,430,356,210口
1万口当たり基準価額	5,866円	5,884円	5,941円	6,239円	6,180円	6,192円

※当作成期間(第76期～第81期)中における追加設定元本額は7,313,516円、同解約元本額は227,683,065円です。

ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容

■年2回決算型

組入ファンド

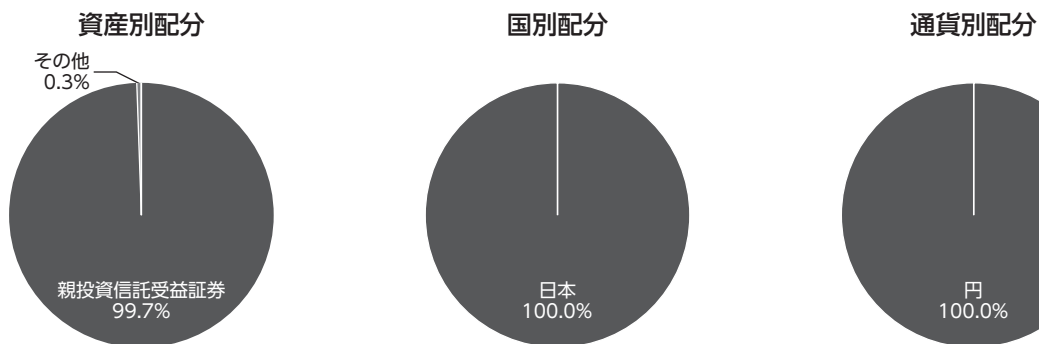
2021年4月26日現在
(組入銘柄数：1銘柄)

銘柄	比率
アムンディ・英国債マザーファンド	99.7%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されております。

種別構成



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

純資産等

項目	第14期末 2021年4月26日
純資産総額	110,862,142円
受益権総口数	130,694,209口
1万口当たり基準価額	8,483円

※当期間(第14期)中における追加設定元本額は3,836,629円、同解約元本額は23,456,320円です。

組入ファンドの概要

<アムンディ・英国債マザーファンド>

第14期 決算日：2021年4月26日

(計算期間：2020年10月27日～2021年4月26日)

基準価額の推移



組入銘柄

2021年4月26日現在

(組入銘柄数：7銘柄)

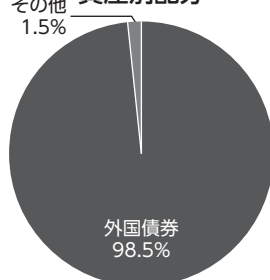
	銘柄	通貨	種別	比率
1	UKT 1.75 09/07/22	英ポンド	国債	18.1%
2	UKT 0.75 07/22/23	英ポンド	国債	17.9%
3	UKT 4 03/07/22	英ポンド	国債	16.7%
4	UKT 2.25 09/07/23	英ポンド	国債	16.6%
5	UKT 0.5 07/22/22	英ポンド	国債	15.2%
6	UKT 8 06/07/21	英ポンド	国債	7.0%
7	UKT 1 04/22/24	英ポンド	国債	7.0%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

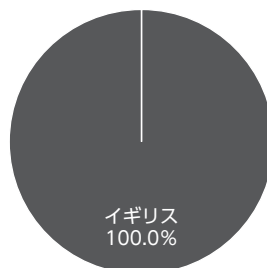
(注2) 銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されております。

種別構成

資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

1万口当たりの費用明細

項目	第14期 (2020年10月27日 ～2021年4月26日)		項目の概要
	金額	比率	
その他費用 (保管費用)	1円 (1)	0.008% (0.007)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
(その他)	(0)	(0.001)	
合計	1	0.008	

期中の平均基準価額は8,702円です。

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

指数に関して

◇「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

• 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) とは、東京証券取引所第一部に上場している全銘柄を対象として算出した指数で、TOPIXの指数値およびTOPIXの商標は東京証券取引所の知的財産であり、同指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利およびTOPIXの商標に関するすべての権利は、東京証券取引所が有します。東京証券取引所は、TOPIXの指数値の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの指数値の算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有します。

• MSCIコクサイ・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

MSCIコクサイ・インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

• MSCIエマージング・マーケット・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

• NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債とは、野村證券株式会社が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。同指数の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。

• FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) とは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

• JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドとは、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している、現地通貨建のエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

Amundi
ASSET MANAGEMENT
アムンディ アセットマネジメント